

# リフォーム 増改築するなら

屋根・壁を貼り直す**だけ**ではなく  
風呂、トイレを新しくする**だけ**ではなく  
キッチンをオール電化にする**だけ**ではなく

その時一緒に、**断熱気密 耐震工事** をしましょう

既存住宅の**断熱・耐震性能をリフォーム**する時代です



## 1. 先ず市民住宅セミナー (8/28山形市) で勉強しましょう!

◇講師 室蘭工業大学 鎌田紀彦教授



■講師紹介  
鎌田紀彦(かまたのりひこ)  
室蘭工業大学建築社会基盤系学科教授  
在来木造住宅の高断熱高气密化を研究、  
昭和60年にその技法を北海道で発表、  
以後日本の省エネ基準の標準工法として全  
国に普及。省エネ型高断熱住Q1.0住宅や  
熱計算プログラムQPEXの開発発表。全  
国670社の新住協会員を指導している。盛  
岡市出身

8月28日市民住宅セミナー  
山形市ビッグウイング  
401会議室午後 2:00~4:00

■主催:NPO新住協 山形支部会員

### ■プログラム

■主催者挨拶 新住協事務局 14:00  
長期優良住宅と断熱リフォーム

■講演 「断熱耐震同時改修」の技術と要点  
鎌田紀彦 先生 14:10~15:40

\*会場からの質問

■閉会 新住協山形支部 16:00

2. 今なら最大200万円の補助  
が交付されます (来年3月まで、一部対象外工

**国交省 長期優良住宅先導事業**  
既存住宅改修部門で「新住協の断熱耐震同時  
改修プロジェクト」の提案が採択されました。

新住協が推進してきた既存住宅の「断熱性能と耐震性能」を同時に向上させる改修させる技術が、平成22年度の国交省長期優良先導事業の第1回応募に採択されました。

これによって、この改修工事内容に適合する住宅の工事金額の1/3、最大200万円の補助が出ます。



■お問い合わせ  
NPO法人新木造住宅技術研究協議会  
事務局 仙台市若林区かすみ町24-10  
電話 022-781-1371 担当 小谷、会沢

○国交省の長期優良住宅先導事業とは  
長期優良住宅先導事業は、「いいものをつくってきちんと手入れして長く大切に使う」というストック社会のあり方について、具体的内容を広く国民に提示し、技術の進展に資するとともに普及啓発を図ることを目的としています。

この観点から、先導的な材料、技術、システムが導入されるものであって、住宅の長寿命化に向けた普及啓発に寄与する事業の提案を、国が公募によって募り、優れた提案に対して、予算の範囲内において、国が事業の実施に要する費用の一部を補助するものです。(一般社団法人すまいづくりまちづくりセンター連合会)ホームページより